

令和7年 北秋田市教育委員会
12月定例会 会議録

1. 招集年月日 令和7年12月25日(木)
2. 招集場所 北秋田市役所第二庁舎 第三会議室
3. 開会及び閉会 開会:午後1時28分 閉会:午後3時00分
4. 出席委員 教育長:佐藤 昭洋 教育長職務代理者:佐藤 英樹
委員:佐藤 正俊 委員:蒔苗 隆
委員:藤本 基子
5. 欠席委員 なし
6. 出席職員 教育次長:金澤 誠
教育総務課長:池田 恒平 学校給食係長: 笹代 孝徳
学校教育課長:茂内 公貴 学校教育係長:金 幸子
生涯学習課長:山本 明美 教育総務係(書記):藤本 来夢
7. 傍聴者 なし
8. 報告事項 (1) 教育長報告
① 動静報告
(2) 各課所管事項
・教育総務課
① 12月行事報告及び1月行事予定
② あきたリフレッシュ学園
③ 学校給食
・学校教育課
① 12月行事報告及び1月行事予定
② 学校の状況
・生涯学習課
① 12月行事報告及び1月行事予定
(3) 各課工事等発注状況
9. 案件
(1) 承認第17号 専決処分の承認を求めるについて(専決第28号 北秋田市公民館運営審議会委員の任免について)
(2) 議案第28号 北秋田市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について

(3) 報告第12号 専決処理の報告について（専決第29号 北秋田市教育委員会事務局職員の任命について）

10. その他の事項

- (1) 次回の教育委員会定例会の開催日について
- (2) その他

11. 会議録

(午後1時28分開会)

佐藤教育長	ただいまから教育委員会12月定例会を開会いたします。 それでは署名委員の指名をさせていただきます。本日の署名委員は蒔苗委員にお願いします。
蒔苗委員	承知しました。
佐藤教育長	次に、次第2番「前回委員会の会議録の承認」です。事前に事務局から配付されている「11月定例会」の会議録の内容について、訂正等がある方はいらっしゃいますか。
委員全員	ありません。
佐藤教育長	訂正がないということであれば、会議録については承認とさせていただいてもよろしいですか。
委員	はい。
佐藤教育長	皆さんの同意をいただきましたので承認とします。 続いて、次第3番「諸報告」です。 それでは（1）私、教育長から動静について報告いたします。 11月28日、森吉コミュニティセンター改築に係る検討委員会の3回目を行いました。ここでは基本設計を提示し、皆さんから基本設計に反映できるようなご意見をいただきました。それに基づいて、12月10日、私は出席しませんでしたが22日にも、基本設計検討会を行っております。 29日、読書感想文・感想画コンクールの表彰式を文化会館で行いました。今年も子どもたちが参加しての表彰式でしたが、読み聞かせグループの方々に大型の紙芝居を読んでいただきたり、スクリーンに映像を映して読んでいただきたりと、来場した子どもたちが楽しめるようなイベントも入っておりましたので、よかったです。 同じ日、大館北秋田退職校長会・現職校長会の合同研修会がありました。3年に1回行われている会ですが、今回は、以前米内沢小学校にも勤務したことのある

佐藤教育長	<p>る、山瀬小学校の藤原校長から、メディアコントロールについて、校長会で研究し発表したものを改めて発表していただきました。退職校長会のほうは、縄文館の館長でもあります中嶋俊彦先生が、ジュニアボランティアガイドなどについての実践を発表してくださいました。</p> <p>30日、紅白柔道大会は、非常に伝統のある大会で、私も以前出場しておりました。今年度は高校生や一般の参加がなく、小中学校だけの大会になっていました。高校生も鷹巣中学校から能代高校に入って活躍しており、先日の全県新人戦も、男子は能代高校1年生メンバーで優勝し、女子も2年生が全県で優勝するといった大変すばらしい活躍をしていますので、能代高校も参加してくれればよかったですと思い、残念でした。</p> <p>12月2日から（12月）定例議会が始まりました。4日、5日と一般質問があり、今回の一般質問では5人の方々の質問を受けて回答しました。4日は福田議員がいじめ問題について、本市の状況を質問されました。いじめの認知件数も報告しながら、重大事案には至っていないことを議会の中で報告しました。この後、協議会を組織として持っていきたいというような回答もしましたので、来年度からそのような形でやっていければと思っております。</p> <p>また、板垣議員からは、森吉コミュニティセンターの改築場所について、11月に場所を決定する前の住民説明会において反対意見が多く出ていた中で、なぜ旧病院跡地としたのかという一般質問がありました。こちらは一度持ち帰り、検討委員の皆さんとの意見を改めて伺う旨をお伝えしました。これを受け、12月10日に開催した基本設計検討委員会において、議員からこうした意見が出ていることを委員の皆さんにお伝えしました。検討委員会には、芸文協、婦人会、自治会など、さまざまな団体の代表の方々が委員として参加されていますが、それぞれの立場からご意見を伺ったところ、芸文協の会長からは、役員会等で協議した結果、病院跡地が適当であるとの意見が出ているとの報告がありました。また、婦人会や自治会の会長からも、検討委員会で決定した病院跡地案のまま進めてほしいという意見をいただきました。今後については、2月の広報において、これまで検討委員会で検討してきた経緯や、なぜ病院跡地としたのかという理由を含め、市民の皆さんに説明したいと考えています。1月号の広報には間に合いませんでしたが、2月号で説明したうえで、事業を進めていく予定です。現在、基本設計を進めている途中ですが、建物の延べ面積はおおむね1,200から1,300平方メートルを想定しており、1,200平方メートル規模の建物の場合、横の長さが60メートルになります。この規模の建物は、現在の駐車場用地には収まらないと考えています。仮に駐車場跡地で整備する場合は、設計を1からやり直す必要が生じ、十分な規模の建物を確保することは難しく、例えば、ホールの規模を確保しようとすると、ほかの部屋を削る設計にならざるを得ない可能性があります。以上を踏まえ、現在の基本設計どおり、旧病院跡地案で進めつつ、並行して対応していきたいと考えています。また、今後、年明けを迎える中で、森吉地区の皆さんにも話題にしていただき、議論が深まればと考えています。現時点では、改めて住民説明会を開催する予定はありませんが、地域の皆さんとの機運が高まることを期</p>
-------	---

佐藤教育長	<p>待しているところです。</p> <p>5日は、久留嶋議員から不登校対策等について、また永井議員と木村議員からはクマ対策についての質問があり、回答しました。</p> <p>7日の「生涯学習フェスタ 2025」では、プログラムの1番に子どもたちのダンスを配置したところ、非常に多くの来場者がコムコムに集まり、座席が足りないほどの盛況となりました。来場者は恐らく200人以上にのぼったものと思われます。プログラムの工夫もありますが、子どもたちのダンスを取り入れたことで会場が一層華やかになり、今年も非常によいフェスタになったと感じています。</p> <p>8日、12月定例議会の常任委員会では、提案した議案を全て了承いただきました。</p> <p>9日には、森吉山阿仁スキーフィールドのリフト券贈呈がありました。今年も、小中学生全員分に加え、リフレッシュ学園分も含めて寄贈していただきました。子どもたちに有効に活用してもらえばと考えていますが、昨年度の利用状況を伺ったところ、利用率は20%を切る程度で、おおむね5人に1人程度という状況でした。</p> <p>10日、北教育事務所長、校長、私の3者による面談が行われ、教職員からの要望について、北教育事務所を通じて県教育委員会へお伝えしました。人事異動に関する意見交換の場となりました。</p> <p>同じく10日には、阿仁学園からの受賞報告がありました。秋田県活性化中学生選手権において最優秀賞を受賞し、今回で3年連続の最優秀賞となります。あわせて、これまで皆さんに報告していなかった件として、小林陽介校長が『「きらり☆北秋田」を活用した教育』をテーマに、自ら企画段階から携わってきた取組を論文としてまとめた結果、博報賞を受賞しました。博報賞は大変評価の高い賞であり、県内でも今回の受賞は小林校長のみではないかと思われます。非常に素晴らしい受賞ということで、大変うれしく感じています。</p> <p>10日夜は、先ほどもお話したとおり、森吉コミセンの改築についての基本設計検討会を行いました。</p> <p>12日、全議案が承認され、議会が閉会しました。</p> <p>18日、かねてから訪問したいと考えていた新設の十和田図書館を、生涯学習課の職員とともに視察しました。二階建てでエレベーターを備えた図書館で、キッズルームの天井には、黄色い布がドーム状に張られており、この色は十和田の盆踊りをイメージしたものとの説明を受けました。全体として、非常によく工夫された図書館であると感じました。本市との大きな違いとしては、指定管理者制度を導入している点が挙げられます。建物は市が整備し、運営については指定管理者が担っており、花輪図書館と十和田図書館を運営しているとのことでした。指定管理料を出し、その中で職員配置等も含めて運営を任せている形で、制度として比較的うまく機能しているように感じました。館長は大館出身の小林さんという方で、他県での研修や実務経験を経て、東京の会社に所属し、指定管理者として運営に携わっているとのことでした。こうした経歴も含め、大変参考になる事例であり、学ばせていただきました。また、資料面では、文学に造詣の</p>
-------	---

佐藤教育長	<p>深い偉人が多い地域性を反映し、個人が収集してきた図書なども丁寧に保存・活用されており、非常に印象的でした。視察しながら、本市においても、藤嶋新先生の蝶や、畠山益穂先生の植物、長岐純一先生の蜘蛛など、貴重な資料があることから、こうした資料を収蔵・活用できる環境が整えばよいと感じたところです。</p> <p>19日には、あきたリフレッシュ学園の2学期終業式が行われ、今回は森吉中学校2年生の生徒1人が出席しました。</p> <p>同日、鷹巣中学校バレーボール部の全国大会出場報告がありました。男子1名、女子2名が、今、大阪で開催されている全国大会に、秋田県代表チームの一員として出場しています。女子については、田代中学校との合同チームで活動をしてきましたが、その中で全国大会出場選手に選ばれたことは、大変素晴らしいことだと感じています。</p> <p>また、同日の夜には、北秋田市医療団との業務協議会が開催され、今年度の健康診断結果などについて報告を受けました。その際、野口先生から不登校に関する質問があり、学校教育課長が回答しました。</p> <p>20日、鷹巣混声合唱団によるクリスマスコンサートが開催されました。久しぶりの開催となり、来場者は200人を超えたと聞いています。私も日程が調整でき、出席させていただきましたが、石郷岡さんの追悼を兼ねたコンサートであり、非常によかったですと感じました。会場となったコムコムの多目的ホールは、音響面において本来コンサートを想定した施設ではないため、文化会館で開催できれば、よりよかったですのではないかと感じる部分もありました。一方で、アットホームな雰囲気があり、文化会館とはまた違った趣のあるコンサートになっていたとも感じています。</p> <p>20日、秋田八丈の奈良田登志子さんによる「現代の名工」表彰記念祝賀会が開催され、私も参加しました。奈良田さんの工房には、綴子小学校の子どもたちが毎年、6年生の学年行事として見学に訪れたり手紙を書いたりと、やり取りを行ってきた経緯があります。北秋田市では初めての受賞であり、今回、秋田県内でも受賞者は1名のみということから、大変誇らしく感じました。当日は、秋田八丈の着物を身にまとった女性の方々がステージにずらりと並び、その光景は圧巻でした。個別に目にする機会はあっても、奈良田さんが手がけた作品が一堂に会する姿を見ると、その見事さが一層際立っていました。また、「自分で織ったものでも、同じものは二度と織れない」と語られ、改めて、その技の尊さと素晴らしさを感じたところです。</p> <p>22日、秋田県教職員組合との協議会では、人事の要望を受けました。</p> <p>昨日の24日、市の新規採用職員との意見交換会を行いました。今年度は市役所職員が20数名採用され、配属部署もそれぞれ異なることから、さまざまな経験について話を聞くことができ、改めて気付かされる点も多くありました。(教育委員会で)教育留学を担当している佐藤さんも参加しており、若い職員の皆さんに対する期待の大きさを改めて感じました。年齢を見ると、「新規採用」とっても幅があり、他職種・他業界を経験してきた方も多く見受けられました。そうした経験は、現在の業務にも生かされる部分があり、大変心強く感じています。</p>
-------	---

佐藤教育長	<p>今回の参加者のうち4人が消防職員でしたが、その中には、内陸線の事故現場で救助活動に当たった経験や、先日の鷹巣で2軒が焼失した火災現場に出動し、対応の難しさを実感したという話もありました。厳しい現場を経験しながらも懸命に職務に取り組んでいる新人職員の姿を知り、今後も応援していきたいと感じたところです。</p> <p>以上が私の報告でしたが、ただいまの報告について、質問や意見などはございませんか。</p>
藤本委員	<p>2点あります。先日、『美しい着物』という雑誌に奈良田さんのことが掲載されていて、大変すばらしいと思って見ておりました。その後、祝賀会に関する新聞記事で、先ほど教育長がお話しされていた、着物を着た方々がずらりと並ぶ写真を拝見しました。今回のように、北秋田市の文化や技が全国に広く知られる機会があることは、すばらしいなと思いました。</p>
佐藤教育長	<p>地域おこし協力隊の藤原健太郎隊員が、秋田八丈の事業承継に取り組むため北秋田市に移住し、現在も活動してくださっています。今後は、千葉や京都からも情報発信を行い、秋田八丈を世界に向けて発信する取組を担当する若い方が2人加わると聞いています。ひとりはICTに長けており、もう一人は外国語に堪能な方で、韓国出身で数十か国語を話せるとの話もあり、心強く感じています。このように多くの方々に関わってもらいながら盛り上げていくことが重要だと考えています。藤原隊員には、事業承継者が集まって学び合い、別家や分家が生まれ、互いに切磋琢磨できる環境をつくることが大切だと話しました。合川の樺細工が衰退したのとは対照的に、角館の樺細工が発展している背景には、複数の事業者や工芸社が存在し、競い合いながら技術を高めてきた歴史があります。そうした姿を参考にしながら、今後の展開を期待したい旨を藤原隊員に伝えたところです。</p>
藤本委員	<p>7日の生涯学習フェスタに、1時間ほどではありましたが伺いました。私が到着した際は、ちょうど「おおちゃんのバルーンアートショー」のステージが行われており、会場全体を使った演出となっていました。ダンスを披露した子どもたちも引き続き会場に残っていたことから、非常に盛り上がり上げてよかったですと思いました。また、展示については、作品の作者名がきれいなプレートで表示されていたほか、講座の様子を写した写真や、俳句の季語を示した展示などがあり、見やすく、受講者が楽しんで取り組んでいる様子が伝わってくる内容でした。また、民具コーナーでの縄ない体験や、フィンランドの飾りを制作する体験コーナーもあり、体験型の内容が充実していると感じました。その一方で、手作り体験コーナーについては、「所要時間20分程度」など、体験にかかる目安時間が表示されていれば、より参加しやすくなるのではないかと感じました。私自身も息子と一緒に体験を検討しましたが、どのくらい時間がかかるのか分からず、少し躊躇した場面がありました。目安時間の表示があれば、体験しやすくなるのではないか</p>

藤本委員	いかと思います。
佐藤教育長	生涯学習フェスタでは、昨年に引き続き、今年も民具のコーナーを設け、空いているブースを活用して展示を行いました。今回特に興味深かったのは、文化財審議委員の方々でも用途が分からぬ道具があり、その民具の使い方を市民の皆さんから教えていただくという取組です。最終的に用途は判明しましたか。
山本生涯学習課長	お米を入れて回すことで、昔はもみ殻を取り除いていたのではないか、という説明をされる方がいました。展示の際は分解された状態でしたが、上に重ねて使用する道具であることまで分かったとのことです。
佐藤教育長	すごくよい企画だったと思います。それから、もう一つのコーナーとして、家庭教育支援チーム「にこっと」さんが、つみ木で遊べる体験コーナーを設けていました。詳細は後ほど課長から報告があると思いますが、「にこっと」さんは今回、文部科学大臣表彰を受けることになりました。本市で平成29年に活動を開始したチームですが、これまでの活動内容が高く評価され、国の表彰につながったことは本当によかったです。おめでたい新年の話題だと感じています。
佐藤英樹委員	先ほど教育長から報告がありました、読書感想文・感想画の表彰式についてです。表彰式自体は昨年度も出席させていただきましたが、その後に行われた読み聞かせについては、ステージでどのように実施されるのか大変興味を持って拝見しました。読み聞かせを担当されていた方々は、いずれも大変経験豊富な方で、あの広い会場でどのように表現されるのか注目しておりましたが、ステージに合った大型の紙芝居や仕掛けを用意され、さらに教育長からもお話があったように、大きなスクリーンに映し出す工夫もされており、とても楽しく拝見しました。大人が聞いていても大変有意義で、満足感のある時間を過ごすことができました。このような内容であれば、今後も小学生や中学生にもどんどん聞かせて、読書への関心を高めてほしいなと感じました。
山本生涯学習課長	鷹巣図書館では、(読み聞かせボランティアグループの)「たまてばこ」さんが活動してくださっており、定期的におはなし会を開催しています。内容は、大規模なものやミニおはなし会などさまざままで、図書館内や下の研修室を会場に、月2回ほど継続して実施していただいている。また、保育園や学校などからも要望があれば、出向いて活動してくださっており、地域に根ざした大変ありがたい取組だと感じています。
佐藤英樹委員	あの大きい仕掛けは、今回のためにつくったものなのでしょうか。
山本生涯学習課長	紙芝居は何点かあり、現在は文化会館の1階に保管しております。必要に応じて、それらを使用させていただいているようです。

佐藤教育長	<p>読み聞かせについては、市内にも多くのグループがあり、私自身もすべてを把握できているわけではありませんが、本日の魁新聞には、北秋田市読み聞かせ隊「おはなしどんどこ」の皆さんのが内陸線の貸し切り列車で読み聞かせを行ったという記事が掲載されておりました。また、各学校のホームページを見ますと、今年は特にどの学校もブログの更新が活発で、写真付きで読み聞かせの様子が紹介されており、市内のほぼすべての学校で取り組まれていることが分かります。こうした活動を通して、各地域の読み聞かせグループの皆さんのが大変熱心に取り組んでくださっていることを、ありがとうございます。</p>
蒔苗委員	<p>森吉コミュニティセンターの改築場所についてですが、質問された議員さんは、改築計画の進捗状況を把握されているのでしょうか。本来であれば最初に決定すべき事項であるにもかかわらず、計画が進んだ後になってから見直したり、結論を覆したりするようなことはないのでしょうか。</p>
山本生涯学習課長	<p>事業を進めるに当たっては、これまで教育委員の皆様にも配付した事業内容や進め方についてご紹介し、説明を行った上で進めております。住民の皆様や議員の方々に対しても同様に、説明を行っております。</p>
佐藤教育長	<p>ほかにございませんか。なければ次に移ります。</p> <p>(2) 各課所管事項の報告について、はじめに教育総務課からお願ひします。</p>
池田教育総務課長	<p><12月行事報告及び1月行事予定について報告></p> <p>資料のとおり</p> <p><教育総務課報告概要></p> <p>2. あきたリフレッシュ学園</p> <p>(1) 利用状況 学園生 12名 (中学生10名、小学生2名) 前月比 増減なし 体験入園0名 前月比 増減なし</p> <p>(2) 活動内容 資料のとおり</p> <p>3. 学校給食</p> <p>(1) 12月の地場産メニューの紹介 資料のとおり</p> <p>(2) 事故報告 資料のとおり</p>
佐藤教育長	ただいまの報告について、質問や意見などはございませんか。
藤本委員	11月以降、インフルエンザの流行などにより、学校閉鎖や学年閉鎖が発生することがありますが、給食用の食材をどのように取り扱っているのでしょうか。また、給食用のパンやデザートなどを、一般の方に安価で提供することは可能な

藤本委員	のか、何らかの許可を得れば実施できるのかについてお伺いしたいと思います。例えば、市役所のLINEやスクリレを活用し、コムコムや公民館などで販売する旨を周知できれば、フードロス対策に取り組んでいることを市民の皆さんにも理解していただけるのではないでしょうか。
池田教育総務課長	今のご質問につきましては、私どもも懸念事項として認識しているところでございます。事前にある程度分かっている場合には、発注段階で調整が可能であるため、食品ロスができるだけ発生しないよう対応しております。一方で、既に購入し、調理が必要となる食材については、一定程度のロスが生じることはやむを得ない部分もございますが、その点についても、給食センターにおいて可能な限り工夫し、調整を行っているところです。また、他自治体等の事例として、余剰となったパンなどを市民や地域の方々に安価で提供している例があることも承知しております。今後、余剰が多く発生する状況が見込まれる場合には、そうした事例も参考にしながら、対応の在り方について検討していく必要があると考えており、現在情報収集を行っているところでございます。
佐藤正俊委員	異物混入の件についてです。（リフレッシュ）学園で子どもたちと一緒に給食をいただいておりますが、これまで異物混入があったことは一度もなく、日頃からおいしい給食を提供していただいていると感じています。ただ、仮に髪の毛など人の身体に関わる異物が混入していた場合、たとえ少量であっても、心理的に受け入れがたいと感じる方は多いのではないかと思います。実は私自身、少し前に飲食店で食事をした際、提供された料理の中に長い髪の毛が入っていたことがありました。その時は混雑していたこともあり、その場で伝えることをためらいましたが、正直なところ、その後その店を利用する気持ちにはなれませんでした。この経験からも、食べ物に人の身体に由来する異物が混入することは、提供する側が思っている以上に、受け取る側の信頼を損なうものだと強く感じています。紙くずなどの異物もあってはならないのですが、特に髪の毛のような異物は、衛生面だけでなく、心理的な影響も大きいと思います。給食は子どもたちの口に直接入る大切なものです、ひとたび異物混入が起これば、噂として広がる可能性もあります。日頃から十分に対策を講じていただいているとは思いますが、改めて衛生管理について、より一層の注意と徹底をお願いします。
池田教育総務課長	おっしゃるとおりでございます。この場で毎月のように報告が続いていることについて、大変申し訳なく思っております。調理に携わっている方々が一生懸命取り組んでいることは承知しておりますが、件数が続いているということは、何らかの見落としがあると受け止めております。今後は改めて給食センターにおいて衛生管理の徹底を図るとともに、私どもとしても適切に管理できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。
佐藤教育長	ほかにございませんか。

佐藤教育長	なければ、次に学校教育課からお願ひします。学校教育課の報告の中で、職員及び児童・生徒に関する内容については、プライバシーに配慮し、内容を非公開としてもよろしいでしょうか。
委員全員	はい。
佐藤教育長	同意をいただきましたので、職員及び児童・生徒に関する内容については、非公開とします。 事務局は非公開資料を配付してください。 では、学校教育課長から所管報告をお願いします。
茂内学校教育課長	<p><12月行事報告及び1月行事予定について報告></p> <p>資料のとおり</p> <p><学校教育課報告概要></p> <ol style="list-style-type: none"> 児童・生徒数 12月1日現在 1,374名(小学生857名、中学生517名) 前月比 小学生・中学生増減なし 職員の異動等 なし 不審者等の情報 なし クマやサルの目撃情報への対応 当日配付資料のとおり クマの出没に伴うスクールバスの臨時運行について 資料のとおり <p><非公開資料説明></p>
佐藤教育長	ただいまの報告について、質問や意見などございませんか。
藤本委員	クマ対策について、11月12日に北秋田市PTA連絡協議会から保護者宛に、近所や友人同士で可能な範囲での乗り合いへの協力をお願ひする文書が、スクリーンを通じて配信されました。クマ対策は、できれば発生しないことが望ましいものではありますが、こうした対応の経験が、今後の保護者同士の協力や助け合いにつながっていけばよいと感じました。
茂内学校教育課長	今回、PTAのほうから文書を出していただき、大変ありがとうございました、ご協力いただいてよかったですと感じております。その後、件数は多くはありませんが、実際に乗り合わせて登校している様子も見られ、非常にありがとうございました。クマの出没は続いているものではありますが、こうした保護者同士の協力については、今後も継続していただければと考えております。
佐藤教育長	先日PTAの方が教育委員会にお越しになって相談を受けたことがありました。その際に、「こうしたやり方もあるのではないか」といった提案をさせていただきました。

佐藤教育長	いたところ、市のPTA連合会でも取り上げていただき、非常に良い形につながったと感じております。学校の立場からは、保護者に対して乗り合わせを直接お願いすることは難しい面もありますので、PTAの中からこうした声が上がってくれることは、大変ありがたいことだと考えております。
蒔苗委員	クマの出没により、子どもたちの外遊びや運動の機会が減少し、運動不足になる傾向があると聞いています。いわゆる「子どものロコモ」については、整形外科の分野でも話題になっているところです。こうした状況を踏まえ、冬休み期間中や新学期開始後に、運動不足を解消するための対策や方策について、何か考えていますでしょうか。
茂内学校教育課長	クマの出没により外での活動が制限されていた期間については、文化スポーツ課や生涯学習課において、施設を開放する旨の周知を行っていただきました。利用状況の詳細までは把握しておりませんが、体育館などでは一定数の団体利用があつたと伺っております。また、秋の時期は学校によって差はあるものの、多くの学校で縄跳びや鉄棒などの運動に関する学習が始まる時期でもあり、そうした取組は行われていたものと思われます。しかしながら、外遊びができなかつたことは、子どもたちにとって非常に大きな影響があったと感じております。冬季の3学期に入りますと、クマの出没も落ち着くと考えられることから、今後は雪遊びなどを通じて屋外で体を動かす機会が増えていくものと思われます。こうした活動を通じて、運動不足の解消につながればと考えております。
佐藤教育長	なお、施設開放については、県がクマ対策の警戒情報を発出している期間中は、無料開放とする取扱いになっているはずでございます。
佐藤正俊委員	本市では、他市町村から長距離通勤で勤務している教職員も多く、これからは冬季は特に心配される時期になります。大館・能代方面は、積雪よりも路面凍結が起こりやすい国道区間も多く、事故のリスクが高まるのではないかと感じております。教育委員会から校長先生方へは既に安全運転についてお話しされているとは思いますが、改めて教育委員会としても、教職員の皆様に対し、事故防止や安全運転について注意喚起をしていただければありがたいと思います。私自身も初雪の際に車が大きくスリップし、非常に危険を感じた経験があり、タイヤの状態や車両点検の重要性を改めて実感しました。こうした経験も踏まえ、冬季に向けて車両点検を含めた安全対策を徹底し、事故のないよう周知をお願いしたいと思います。
茂内学校教育課長	11月には、県から学校事故防止に関する注意喚起が示されたことを受け、各学校へ通知を行っております。今後、3学期開始前にも改めて注意喚起を行い、安全対策の徹底を図ってまいります。

佐藤教育長	3学期開始前の所員発表会に教職員が集まりますので、課長挨拶の中で少し話してもらえばよいのではないかでしょうか。
茂内学校教育課長	承知しました。
佐藤教育長	今年度の所員発表会の講師は、(阿仁比立内) がっこステーションの斎藤美奈子さんにお願いしております。斎藤さんは現在アフリカに滞在中とのことですが、本発表会に合わせて帰国される予定と伺っております。当日はアフリカでの経験などについてもお話を伺えるのではないかと、楽しみしております。 ほかになければ、次に生涯学習課からお願ひします。
山本生涯学習課長	<12月行事報告及び1月行事予定について報告> 資料のとおり
佐藤教育長	ただいまの報告について、質問や意見などはございませんか。
藤本委員	クマ対策として、市内の公民館12施設を、子どもたちの遊びや運動の場として無料開放し、当日空いている施設を利用できるようにした取組は、大変意義のあるものだったと思います。行事予定のほかに、余白欄なども活用し、実施内容として(資料に)記載していただければ、よりよいのではないかと思います。
山本生涯学習課長	今回、初めて実施した施設の無料開放につきましては、周知は行ったものの、期間中の利用申込みはございませんでした。
佐藤英樹委員	課長にお札を申し上げます。大阪万博にも出展させていただいた、しゃろーむの子どもたちが描いた「世界一大きな絵」が、このたび市に戻ってまいりました。保健センターで大森山動物園の小松園長による講演会が開催されることとなり、関係者のご配慮により、市民の皆さんにもご覧いただけるよう、保健センター内に掲示していただきました。その後の展示について相談していたところ、コムコムに展示していただけることとなり、大変うれしく思っております。作品は非常に大きく重量もあるため、20日のクリスマス会の際には、文化会館の担当の方が釘で固定し、ステージに展示してくださいました。今回の展示が最後になるかと思いますが、市長、北林県議、佐藤光子県議にも筆を入れていただいている作品でもありますので、どうぞよろしくお願ひいたします。
山本生涯学習課長	ありがとうございます。園長先生から、万博に行かれるというお話を伺っており、大変夢のあるお話だと感じおりました。保健センターに展示されている様子を新聞で拝見し、「こうした形で飾れるのだな」と知り、お声がけをさせていただきました。実際に見ると、想像以上に大きな作品であることにも驚いておりますが、ぜひ多くの皆さんにもご覧いただきたいと思っております。

佐藤教育長	ほかにございませんか。なければ、次に移ります。 (3) 各課工事等発注状況について、説明をお願いします。教育総務課長。
池田教育総務課長	<各課工事等発注状況> 令和7年11月1日～令和7年11月30日 発注なし
佐藤教育長	ただいまの報告について、質問や意見などはございませんか。 なければ、次に次第4番「案件」に移ります。 (1) 承認第17号 専決処分の承認を求めるについて(専決第28号 北秋田市公民館運営審議会委員の任免について)説明をお願いします。生涯学習課長。
山本生涯学習課長	<承認17号について説明>
佐藤教育長	山野内キミ子さんは、消費者の会の代表として、さまざまな場面でご尽力いた だいた方でございます。前向きな助言や貴重なご意見を数多く頂戴してまいりま した。笑顔が印象的な、大変すばらしい方であり、突然の計報に接し、誠に残念 でなりません。心よりご冥福をお祈り申し上げます。 質問や意見などなければ、承認してもよろしいでしょうか。
委員全員	はい。
佐藤教育長	「承認」とします。 次に(2)議案第28号 北秋田市立学校管理規則の一部を改正する規則の制 定について、説明をお願いします。学校教育課長。
茂内学校教育課長	<議案第28号について説明>
佐藤教育長	ただいまの説明について、質問や意見などはございませんか。
藤本委員	そうしますと、来年度の始業式は4月7日ということでよろしいでしょうか。
茂内学校教育課長	平日を4日間確保するため、1日から3日が水・木・金となり、4日・5日の 土日を挟んで、6日の月曜日を平日4日目とし、7日を始業式とする日程になります。
藤本委員	先生方の異動を伴う年度末から年度当初にかけては、相当なご負担があるかと 思いますが、円滑に進めていただけけるよう、引き続きしっかりとご準備をお願い したいと思います。

佐藤教育長	恐らく、多くの市町村では、始業日を日付で規定しておりますが、その場合、土日が挟まることで、十分な準備期間を確保できないことがあります。今回のように、確実に平日4日間を確保する形で定める規則は、県内でも珍しい取組になるのではないかと考えております。
佐藤正俊委員	当時を振り返ると、あまりの忙しさに、何をしていたのか分からなくなるほどでした。朝から晩まで会議が続き、先生方は準備に大変苦労していたと思います。私たちの頃はすべて紙資料で、原稿を作成して提出し、職員の人数も多かつたため、印刷後は皆でホチキス止めをするなど、今とは全く違う時代でした。その分、非常に多くの時間と労力がかかっていたことを覚えています。当時はそれが当たり前だと思っていましたが、今回のようにさまざまな点を考慮し、学校運営、学級運営の準備に十分な時間を確保できるようになることは、意義のあることだと感じております。
佐藤英樹委員	管理職を務めていた際、3月の対応には特に気を配っていました。校務分掌を正式に発表する前に、1年生担任となる可能性のある先生方にはあらかじめ連絡を入れ、心づもりと準備をしていただくようにしていました。また、校務分掌をいつ、どのタイミングで発表するかについても考えていました。今回のように4日間の準備期間が確保されることで、十分な余裕が生まれ、たいへんよい取り組みだと感じながら拝見させていただきました。
蒔苗委員	中学校で実施しているエピペンの講習会は、現在も継続して実施されているのでしょうか。
茂内学校教育課長	中学校に限らず、記載はありませんが、小学校でもエピペンの講習会は実施されています。対象となる児童生徒が在籍している場合には全職員を対象に行い、対象となる児童生徒がない場合でも、養護教諭など、しかるべき立場の職員が市の研修会等に参加する形で対応しております。
蒔苗委員	すべての学校で行っているのですか。
茂内学校教育課長	すべての学校で行っております。
蒔苗委員	普段、学校にはエピペンは常備されているのでしょうか。
茂内学校教育課長	対象児童生徒がいる場合、エピペンは職員室または保健室で預かっているそうです。
蒔苗委員	エピペンについてですが、対象となる児童生徒に医師から処方されたものを学

蒔苗委員	校で預かっているという理解でよろしいでしょうか。学校にいる間は保健室等で対応できると思いますが、学校外でアナフィラキシーが起きた場合は、どのような対応になるのか教えていただきたいと思います。
茂内学校教育課長	その点については、こちらでも十分に確認できておりませんので、実際にどのような対応をしているのか、改めて確認したいと思います。
佐藤教育長	実際に今年度、生徒が修学旅行中や授業中に症状を発症し、エピペンを使用した事案もございました。いずれの場合も適切に対応できる体制が整っており、円滑に対応できたことは良かったと思っております。
茂内学校教育課長	修学旅行の際には、エピペンを適切に携行しておりましたが、日常の下校時などにどのような対応をしているのかについては、改めて確認したいと思います。
佐藤教育長	一通り皆さまからご意見を頂きましたが、本件について、ほかにご意見はございませんか。なければ、原案のとおり決定してもよろしいでしょうか。
委員	はい。
佐藤教育長	皆さんの同意を得られましたので、原案のとおり「議決」とします。 学校の働き方改革の一つとして、一步前進したところだと思います。 次に（3）報告第12号 専決処理の報告について（専決第29号 北秋田市教育委員会事務局職員の任免について）説明をお願いします。教育次長。
金澤教育次長	＜報告第12号について説明＞
佐藤教育長	ただいまの説明について、質問や意見などはございませんか。 なければ、この案件は報告ですので、以上とさせていただきます。 続いて次第5番「その他」に移ります。 (1) 次回の教育委員会定例会について、事務局からお願いします。
事務局	次回の定例教育委員会は、令和8年1月29日（木）午後1時30分から北秋田市役所第二庁舎1階第三会議室を予定しております。
佐藤教育長	(2) その他、何かございますか。 特にないようであれば、以上をもちまして教育委員会12月定例会を閉会いたします。

(午後3時00分閉会)